



1.準決勝を観戦する石崎ミニバスの子ども 2.決勝戦を観戦する大田町周辺の住民 3.パトリアに設置した祝福の懸垂幕 4.赤穂選手から贈られたバスケットボールを持つ石崎ミニバスの子どもたち 5.市役所に駆け付けた子どもに、快く撮影に応じる赤穂選手

## 夢や希望、感動をありがとう！



七尾市バスケットボール協会  
会長 長野 真一さん

銀メダルおめでとうございます。赤穂選手をはじめ日本代表のそれぞれの選手が果敢にゴールに向かう姿に、毎試合、感動と興奮を覚えました。私以上に七尾の子どもたちが喜んでる声を耳にしました。銀メダルを取った快挙をテレビ越しですが、共有できたことは財産になりました。ありがとうございます。



石崎ミニバスケットボールクラブ  
コーチ 西崎 さくらさん

日本代表のあきらめずに走り続ける姿勢は、子どもたちの刺激になりました。準決勝を観戦した後に、ミニバスの試合があったのですが、子どもたちはいつもより攻める姿勢でプレーし、勝つことができました。赤穂選手に元気と勇気をもらいました。偉大な先輩が同クラブから出たことを子どもたちは誇りに思っています。



石崎ミニバスケットボールクラブ  
主将 大松 愛琉さん

決勝戦は負けてしまったけど、銀メダルが取れて良かったです。リバウンドを取ったり、3ポイントシュートを決めたり、自分たちの先輩がオリンピックで活躍していることがすごいと思いました。私も、赤穂選手のリバウンドを見習って、今以上に取れるように頑張りたいです。夢はオリンピックで金メダルを取ることです！

## 七尾市初！ スポーツ栄誉賞を授与

8月12日、銀メダルを獲得した赤穂選手が市役所を訪れ、喜びの報告をしました。

茶谷市長は「銀メダルおめでとうございます。市民の皆さんに感動と、希望を与えていただきありがとうございます。ありがとうございました」と感謝し、銀メダル獲得を成し遂げた功績を称え、新たに創設した七尾市スポーツ栄誉賞を授与しました。

赤穂選手は「地元が大好きなので、このような賞をもら



えてうれしい。大会では地元からの声援が私の力になりました。次は金メダルを持って帰ってきたと思うので、これから応援よろしくお願いします」と晴れやかな表情で語り、視線は早くも3年後のパリオリンピックに向けていました。



## 原点の石崎 ミニバスを訪問

同日、赤穂選手が小学校時代に所属した石崎ミニバスケットボールクラブを訪れました。

変わらない石崎小学校の体育館に「懐かしい」と目を細め、後輩の練習に胸を貸す場面もあり、軽やかなドリブルを披露しました。

子どもたちからドライブのこつを聞かれ「行くと決めたら悩まず行く」、身長を伸ばす方法を教えてほし

